

第4章 ダイオキシン類調査結果

I 調査結果

(大気・水環境対策の取組 I-1-④水環境に係るモニタリングの実施から抜粋)

○基本施策 I-1-④水環境に係るモニタリングの実施○

3 河川・海域の水質調査：ダイオキシン類（公共用水域）（I-1-④-1 関係）

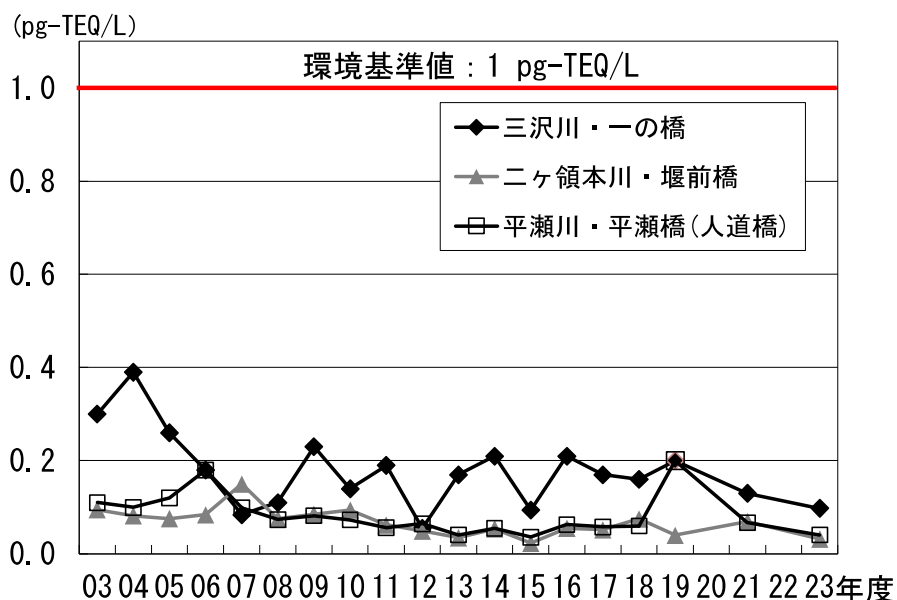
ダイオキシン類については、平成 10(1998)年度から測定を実施し、平成 12(2000)年度以降は平成 12(2000)年 1 月に施行したダイオキシン類対策特別措置法に基づき調査を実施しています。

(1) 河川

市内の河川（水質）の環境濃度を把握するため、平成 15(2003)年度から平成 30(2018)年度までは河川 7 地点で毎年調査しました。令和元(2019)年度からは調査地点を 1 地点削減して、頻度も削減し、6 地点において 3 地点ずつ隔年で調査を実施しています。

ア ダイオキシン類濃度の推移

令和 5(2023)年度の調査地点は、三沢川・一の橋、二ヶ領本川・堰前橋、平瀬川・平瀬橋(人道橋)の 3 地点です。調査を実施するようになった平成 15(2003)年度以降、概ね低濃度で推移しています。



ダイオキシン類濃度の経年推移(3 地点)(河川・水質)

イ 環境基準の達成状況

令和 5(2023)年度の調査結果は、0.032~0.098 pg-TEQ/L であり、全地点で環境基準(年間平均値が 1 pg-TEQ/L 以下)を達成しました。

ダイオキシン類の調査結果(河川・水質)

(単位: pg-TEQ/L)

調査地点	調査結果	環境基準値
三沢川・一の橋	0.098	1
二ヶ領本川・堰前橋	0.032	
平瀬川・平瀬橋(人道橋)	0.041	

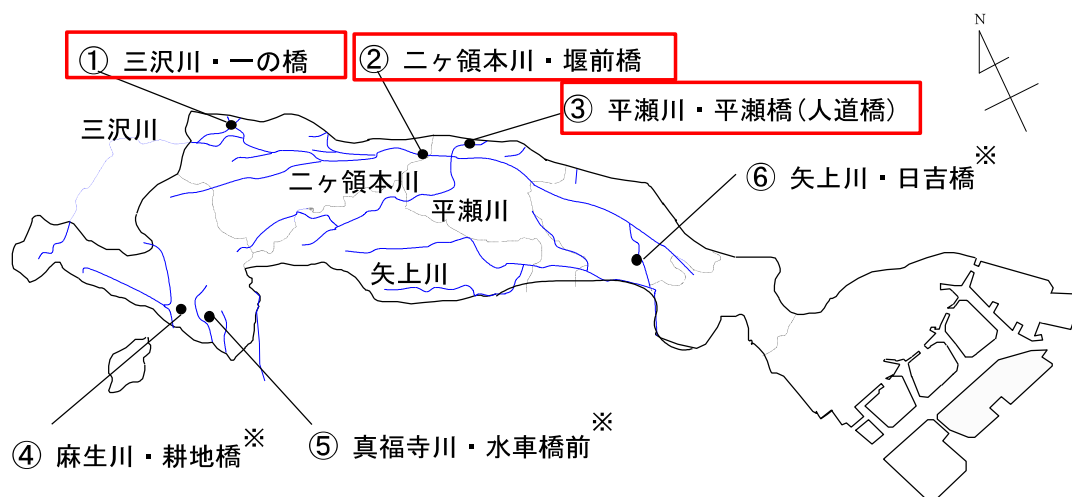
ウ 調査地点別の過去 10 年間のダイオキシン類濃度

過去 10 年間のダイオキシン類の濃度は、経年的にほぼ横ばいで推移しています。

調査地点別のダイオキシン類濃度の経年推移（河川・水質）

（単位：pg-TEQ/L）

調査年度 調査地点	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023
① 三沢川・一の橋	0.21	0.094	0.21	0.17	0.16	0.20	－	0.13	－	0.098
② 二ヶ領本川・堰前橋	0.054	0.023	0.055	0.052	0.075	0.040	－	0.069	－	0.032
③ 平瀬川・平瀬橋 （人道橋）	0.055	0.036	0.063	0.058	0.060	0.20	－	0.067	－	0.041
④ 麻生川・耕地橋	0.054	0.023	0.050	0.047	0.054	－	0.024	－	0.029	－
⑤ 真福寺川・水車橋前	0.055	0.024	0.054	0.046	0.049	－	0.024	－	0.031	－
⑥ 矢上川・日吉橋	0.081	0.040	0.084	0.063	0.066	－	0.072	－	0.037	－



※ 3 地点ずつ隔年で調査を実施しており、④、⑤、⑥については令和 4（2022）年度に調査を実施

調査地点（河川・水質）

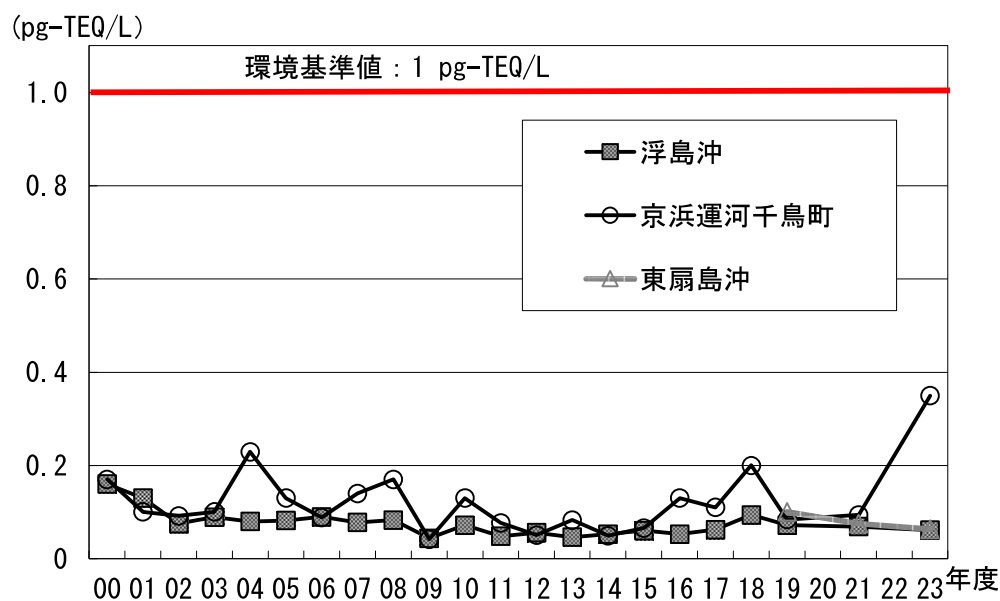
(2) 海域

ア 水質

市内の海域（水質・底質）の環境濃度を把握するため、平成 15（2003）年度から平成 30（2018）年度までは海域 5 地点で毎年調査しました。令和元（2019）年度からは調査地点を 1 地点（東扇島沖）追加して、頻度を削減し、6 地点において 3 地点ずつ 2 年周期で調査を実施しています。

(イ) ダイオキシン類濃度の推移

令和 5（2023）年度の調査地点は、浮島沖、京浜運河千鳥町、東扇島沖の 3 地点です。平成 12（2000）年度の調査開始当初から低濃度で推移しています。



ダイオキシン類濃度の経年推移(3地点)(海域・水質)

(イ) 環境基準の達成状況

令和5(2023)年度の調査結果は、0.061～0.35 pg-TEQ/L であり、全地点で環境基準(年間平均値が1 pg-TEQ/L 以下)を達成しました。

ダイオキシン類の調査結果(海域・水質)

(単位：pg-TEQ/L)

調査地点	調査結果	環境基準値
浮島沖	0.061	1
京浜運河千鳥町	0.35	
東扇島沖	0.063	

(ウ) 調査地点別の過去10年間のダイオキシン類濃度

過去10年間のダイオキシン類の濃度は、経年的にほぼ横ばいで推移しています。

調査地点別のダイオキシン類濃度の経年推移（海域・水質）

（単位：pg-TEQ/L）

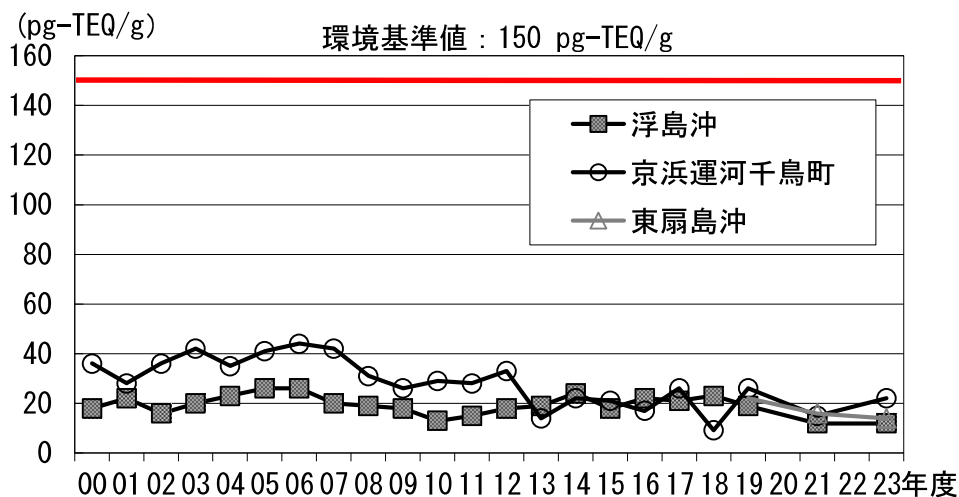
調査年度 調査地点		2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023
①	浮島沖	0.053	0.060	0.053	0.062	0.094	0.072	－	0.069	－	0.061
②	京浜運河千鳥町	0.049	0.066	0.13	0.11	0.20	0.084	－	0.094	－	0.35
③	東扇島沖	－	－	－	－	－	0.10	－	0.075	－	0.063
④	東扇島防波堤西	0.047	0.045	0.085	0.059	0.12	－	0.047	－	0.11	－
⑤	京浜運河扇町	0.056	0.18	0.22	0.11	0.36	－	0.070	－	0.13	－
⑥	扇島沖	0.057	0.044	0.068	0.049	0.082	－	0.043	－	0.088	－

イ 底質

市内の海域（底質）の環境濃度を把握するため、水質調査と同一の地点において調査を実施しています。

(ア) ダイオキシン類濃度の推移

令和5（2023）年度の調査地点は、浮島沖、京浜運河千鳥町、東扇島沖の3地点です。平成12（2000）年度の調査開始当初から低濃度で推移しています。



ダイオキシン類濃度の経年推移（3地点）（海域・底質）

(イ) 環境基準の達成状況

令和5(2023)年度の調査結果は、12～22 pg-TEQ/g であり、全地点で環境基準(150 pg-TEQ/g 以下)を達成しました。

ダイオキシン類調査結果(海域・底質)

(単位:pg-TEQ/g)

調査地点	調査結果	環境基準値
浮島沖	12	150
京浜運河千鳥町	22	
東扇島沖	14	

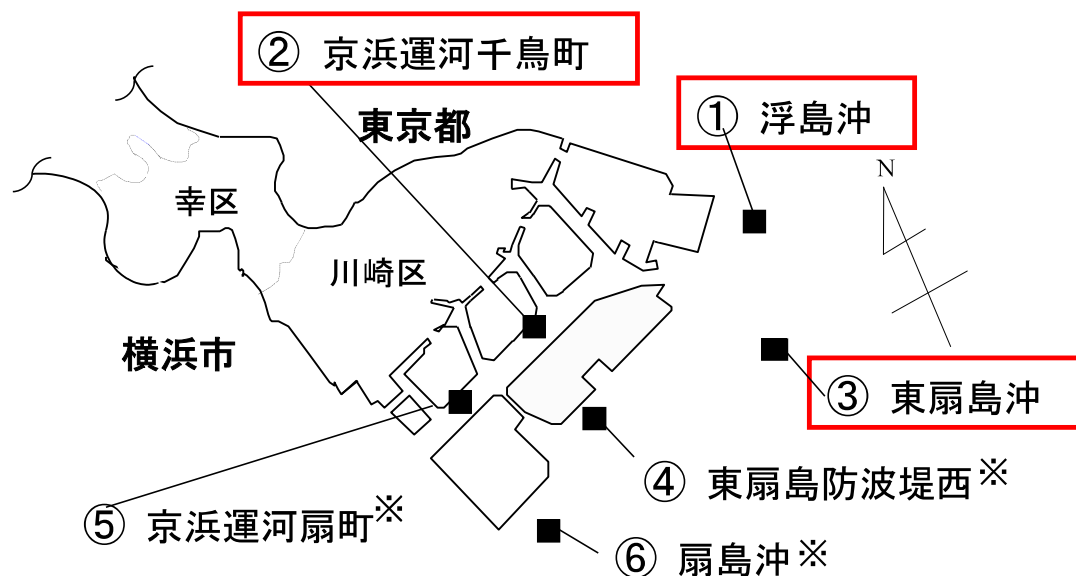
(ウ) 調査地点別の過去10年間のダイオキシン類濃度

過去10年間のダイオキシン類の濃度は、経年的にほぼ横ばいで推移しています。

調査地点別のダイオキシン類濃度の経年推移(海域・底質)

(単位:pg-TEQ/g)

調査年度 調査地点	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023
① 浮島沖	24	18	22	21	23	19	-	12	-	12
② 京浜運河千鳥町	22	21	17	26	9.2	26	-	15	-	22
③ 東扇島沖	-	-	-	-	-	22	-	16	-	14
④ 東扇島防波堤西	9.0	11	14	14	2.1	-	13	-	11	-
⑤ 京浜運河扇町	23	35	22	21	25	-	23	-	21	-
⑥ 扇島沖	20	19	19	18	15	-	17	-	18	-



※ 3地点ずつ隔年で調査を実施しており、④、⑤、⑥については令和4(2022)年度に調査を実施

調査地点(海域・水質、底質)

4 地下水質の監視：ダイオキシン類（地下水及び土壌）（Ⅰ－1－④－2 関係）

ダイオキシン類による地下水及び土壌の汚染の状況を把握するため、平成12(2000)年1月に施行したダイオキシン類対策特別措置法に基づき調査を実施しました。

(1) 地下水

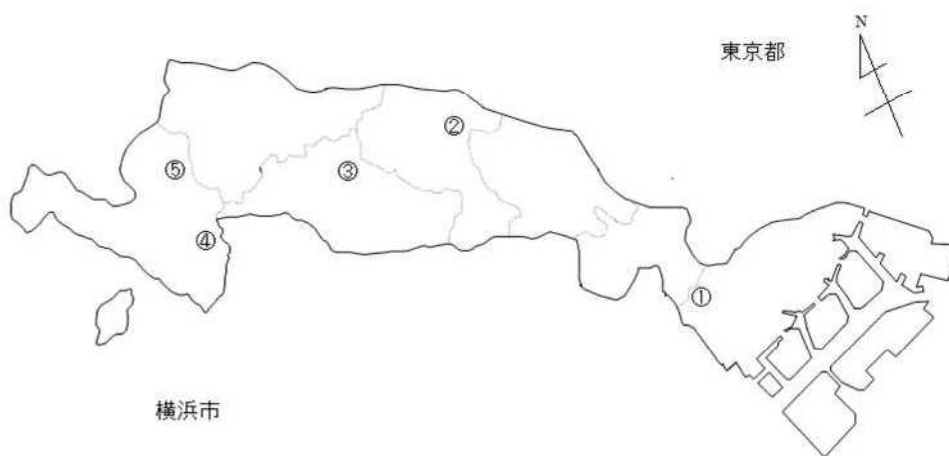
市内5地点の井戸において調査を実施しました。

調査結果は0.014～0.031 pg-TEQ/Lで、全地点で環境基準（年間平均値が1 pg-TEQ/L以下）を達成しました。

ダイオキシン類の調査結果（地下水）

（単位：pg-TEQ/L）

調査地点			調査結果	環境基準値
①	川崎区	小川町	0.031	1
②	高津区	北見方	0.015	
③	宮前区	宮崎	0.014	
④	麻生区	王禅寺	0.015	
⑤	麻生区	高石	0.014	



ダイオキシン類の調査地点（地下水）

(2) 土壌

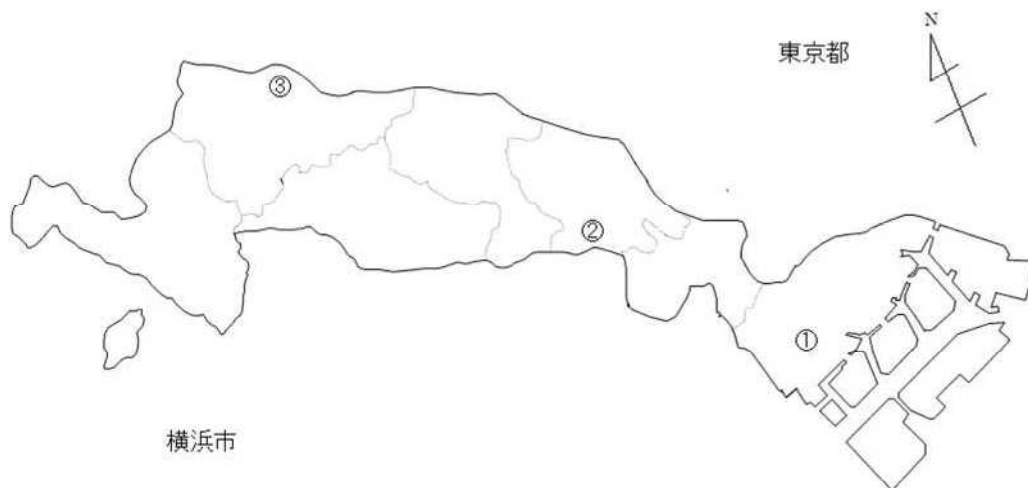
市内3地点の公園において調査を実施しました。

調査結果は0.31～1.8 pg-TEQ/gで、全地点で環境基準(年間平均値が1,000 pg-TEQ/g以下)を達成しました。

ダイオキシン類の調査結果(土壌)

(単位: pg-TEQ/g)

調査地点				調査結果	環境基準値
①	川崎区	桜本	桜川公園	1.8	1,000
②	中原区	井田中ノ町	住吉西公園	0.31	
③	多摩区	中野島	中野島中央公園	1.1	



ダイオキシン類の調査地点(土壌)